

競技規定 訂正箇所について

●2020年ジャッジテキスト

- ・ 18 ページ (添付 1 赤字斜線部分 参照)
- ・ 27 ページ (添付 2 赤字斜線部分 参照)
- ・ 39 ページ (添付 3 赤字斜線部分 参照)

「添付 1」～「添付 3」も合わせてご確認ください。

※NSA オフィシャルサイト掲載も上記同様 (修正済)

<http://www.nsa-surf.org/wp/wp-content/uploads/2020/09/JUDGETEXT-2020.pdf>

●NSA YEARBOOK 2020-2021

- ・ 91 ページ 第 26 条 集計方法⑤<例外>文をすべて削除
- ・ 93 ページ 【E】 妨害に関するペナルティ②の※例外文をすべて削除

●第 38 回全日本級別サーフィン選手権大会パンフレット

- ・ 18 ページ 第 26 条 集計方法⑤<例外>文をすべて削除
- ・ 20 ページ 【E】 妨害に関するペナルティ②の※例外文をすべて削除

お手元のテキスト等の修正もお願い致します。

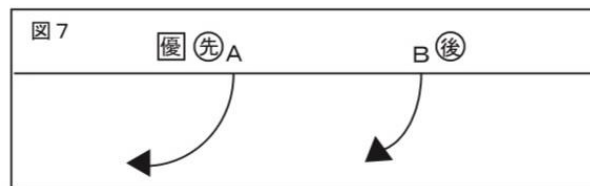
誤った記載で大変ご迷惑をおかけ致しました。お詫び申し上げます。

2021年7月
日本サーフィン連盟
教育委員会・ジャッジ委員会

d. オープンブレイク

波がライトかレフトかはっきりせずピークのない波の場合、先にテイクオフした選手が明確な進行方向へターンをした時点で優先権を得ます。

同一方向へ2人の選手がテイクオフした場合、先に進行方向にターンをしたA選手が優先権を得ます。B選手のライディングがA選手のライディングに支障があれば、B選手は妨害となる場合があります。(図7)



また、2人の選手が同時にテイクオフし、互いに相手に向かって進んで行った場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手は妨害となる場合があります。

○妨害に関するペナルティ

1. インターフェアレンスの判断は、ヘッドジャッジを含めたそのヒートを担当するジャッジの大多数で決定されます。
2. インターフェアレンスをしたライディングは集計対象ウェーブからカットされます。また、その選手の得点は、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを1/2減点して集計されます。(ノンプライオリティの場合)

＜例外＞

インターフェアレンスをして他に1本しかライディングしていない(そのヒートでインターフェアをしたライディングを含めて2本しか乗っていない)場合、その1本(その選手のベストウェーブ)のスコアを1/2減点して集計されます。※2020年削除

3. 妨害を受けた選手は定められた競技時間内であれば、マキシマムウェーブに追加してエクストラウェーブが与えられます。ただし、ダブルインターフェアレンスの場合を除きます。
4. 同じヒートでインターフェアレンスを2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければなりません。

添付2 (ジャッジテキスト 27 ページ)

○集計時の注意点

<ジャッジペーパーに妨害マーク (△または▲) がある場合>

妨害はそのヒートを担当したジャッジの大多数の判断で成立します。妨害の成立、不成立の判断は下記手順でジャッジシートを確認してください。

1. 妨害マークが同じライディングについているか、矢印が同じウェーブを指しているか。
 - ・ジャッジシート下のシチュエーション図ではなく、スコアにある妨害マークを見てください。
 - ・同じ妨害の判定でもジャッジの見解が分かれる場合もあります。(妨害マークと矢印がシートによっては反対になっていることもあります。)
2. 同じ妨害の見解が大多数になっているかを確認してください。
 - ・大多数に達していない妨害のコール (例: 3人がコールなしに対し1人のみコール) は不成立です。
 - ・妨害の見解は同数で割れる場合もあります。その場合はヘッドジャッジが成立または不成立をシートに記入しますので確認してください。また、集計側で妨害が成立しているか判断がつかない場合はそのヒートを担当したヘッドジャッジに確認してください。

※インターフェアレンスシートを活用してください。

<妨害が成立した場合の集計方法> (集計用紙の処理は前ページを参照してください。)

1. その選手の妨害をしたライディングは集計対象ウェーブから除かれます。
2. 妨害をした場合、集計対象スコア (通常はベスト2ウェーブ。大会特別ルールがある場合はそれに従う) の一番低いライディングの点数を1/2減点します。

<例外>
~~インターフェアレンスをして他に1本しかライディングしていない (そのヒートでインターフェアをしたライディングを含めて2本しか乗っていない) 場合、その1本 (その選手のベストウェーブ) のスコアを1/2減点して集計します。※2020年削除~~
3. パドリング妨害でそのままライディングしたウェーブは集計対象から除きます。
4. ライディングのないパドリング妨害は、集計対象ウェーブの除外はなく、その選手のすべての点数の平均点を算出します。
5. パドリング妨害の場合も集計対象スコアが一番低いライディングの点数を1/2減点します。

<合計点が同点の場合の順位決定方法>

1. 同点の選手の最高点 (ベスト2ウェーブの高い方の点数) からカウントバック (点数の比較) を行います。1本目が同点の場合は差がつくまで繰り下げ、差がついた時点で高い点数の選手が上位となります。
2. 同点のまま比較するライディングが繰り下がり、結果ライディング本数に差が出た場合ライディング本数が多い方が上位となります。
(例: 4本目まで同点でA選手が4本、B選手が5本乗っていた場合、B選手が上位となります)
3. カウントバック、ライディング本数でも差がつかない場合はそのヒートを担当したジャッジの協議で順位を決定します。
4. ノーライドの場合は同一順位とし、そのヒートの最下位となります。また、ラウンド2以降での途中棄権も同様です。
(例: 4人ヒートで2人がノーライドだった場合は同一4位となります)

添付3 (ジャッジテキスト 39 ページ)

4. 各ライディングの平均点を算出する。(小数点第二位まで算出し小数点第三位を四捨五入する)

<平均点の算出方法>

- ・5人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り3人の点数の合計を3で割る。
- ・4人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り2人の点数の合計を2で割る。
- ・3人ジャッジ：そのまま3人の点数の合計を3で割る。

5. 各選手の平均点の点数からベスト2ウェーブ(最高点と次点の2本の点数)を抜き出す。妨害成立の場合、その選手のベスト2ウェーブの2番目の点数は1/2減点される。

(ノンライオリティ)

<例外>

~~インターフェアレンスをして、他に1本しかライディングしていない(そのヒートでインターフェアをしたライディングを含めて2本しか乗っていない)場合、その1本(その選手のベストウェーブ)のスコアを1/2減点して集計される。※2020年削除~~

6. 各選手のベスト2ウェーブの点数の合計を算出する。

7. ベスト2ウェーブの合計点の高い順に順位を記入する。(=ヒート結果となる)

8. 妨害が成立したライディングがある場合、妨害欄に△を押し、対象ウェーブに矢印を記入する。

<パドリング妨害の場合>

- ・ライドありでは、妨害をしたライディングの妨害欄に△を記入し対象ウェーブに向けて矢印を引く。
- ・ライドなしでは、妨害をしたライディング間のライン上の妨害欄に P を記入し対象ウェーブに向けて矢印を引く。

9. 集計が終わったら、集計担当者のサインを記入し集計責任者のチェックを受ける。集計チェックで問題がなければ集計責任者のサインを記入する。

第27条 (同点の場合の順位決定方法)

1. 同点の選手の最高点(ベスト2ウェーブの高い方の点数)からカウントバック(点数の比較)を行う。1本目が同点の場合は差がつくまで繰り下げ、差がついた時点で高いポイントの選手が上位となる。(比較したポイントに○・×を記入する)
2. 同点のまま比較するライディングが繰り下がり、結果ライディング本数に差が出た場合ライディング本数が多い方が上位となる。
3. カウントバック、ライディング本数でも差がつかない場合はそのヒートを担当したジャッジの協議で順位を決定する。
4. ノーライドの場合は同一順位とし、そのヒートの最下位とする。また、ラウンド2以降の途中棄権も同様とする。(例：4人ヒートで2人がノーライドだった場合は同一4位となる)

第28条 (ヒート結果の確定・掲示)

ヒート終了後、集計係によって集計された順位は集計責任者の確認を経て放送でコールし確定する。放送後、速やかにヒート結果を掲示する。

第29条 (コンテストディレクター)

1. 海という自然の中で行う競技では、コンテストを開催する上で突風・豪雨・雷等の危険に対して一時中断の判断や、台風、大きな低気圧の接近が予想される場合は事前中止の判断も必要である。競技続行が危険な場合は大会会長、運営委員長、ジャッジ委員長と対応を協議の上、決定する役割を担う。
2. 大会の現場責任者として各関係諸団体との調整、スケジュール管理等、イベント全体を統括する。

第30条 (運営委員長)

ビーチマーシャルを統括し、スケジュールがスムーズに進行するよう管理する。また、イベントを円滑に運営する上で、コンテストディレクターの補佐役を担う。

添付 4 (訂正内容詳細説明)

正しくはベスト 2 ウェーブルールにおいて、1 回目のインターフェアレンスは全てセカンドベストウェーブが減点対象になります。

ノーマルインターフェアレンス (スコアを 1/2 にカットする)

プライオリティルールを採用していない試合及びプライオリティルールを採用試合中のノンプライオリティシュチエーション時とプライオリティが同等の選手同士で発生したインターフェアレンス。

プライオリティインターフェアレンス (スコアを 100% カットする)

プライオリティルールを採用した試合でプライオリティシュチエーション時。

(特殊な例) 最終的に 1 回のインターフェアレンスを犯した選手が 1 本 (ベストウェーブ) のスコアしか持っていない場合、インターフェアレンスの対象がない為ベストウェーブがそのまま集計され順位が確定されます。

(補足)

2 回目のインターフェアレンスを犯した選手は速やかに海から上がらなければなりません。そして、2 回目のインターフェアレンスはベストウェーブが減点対象になり、集計され順位が確定されます。

旧ルールでは、集計無しのヒート最下位が確定するになっていました。

現在は集計して順位が確定されます。

誤った記載で大変ご迷惑をおかけ致しましたことお詫び申し上げます。